

長崎県植物誌ノート(28)

中 西 弘 樹¹⁾

Notes on the Flora of Nagasaki Prefecture (28)

Hiroki NAKANISHI¹⁾

Abstract: Three species, one variety and one forma including one alien plant which were newly found in Nagasaki Prefecture and thirteen species were described in this paper. The distribution map of *Smilax bracteata* was illustrated.

はじめに

本研究は長崎県のフロラの解明を目的とするもので、主として外山(1980)の「長崎県植物誌」および松林(1981)の「長崎県シダ植物誌」の目録に記されていない、いわゆる県新産の植物と、希産種の産地追加を記録する。記載の形式は前回までと同様である。

県新産の植物

新産の在来種

305. タマミゾイチゴツナギ *Poa acroleuca* Steud.
var. *submoniliformis* Makino (イネ科)

西彼杵郡長与町平木場郷隠川内[長崎 1, 4929

-17-82], 150m, May 11, 2003, (No. 19646)

ミゾイチゴツナギの茎の基部がふくれて球茎状となるもので、各地に生育しているものと思われる。

306. シロネ *Lycopus lucidus* Turcz. (シソ科) (図 1)

北松浦郡田平町野田免 [平戸 4, 5029-04-46], 2 m, Aug. 25, 2003, (No. 19616)

田平町野田免にヨシが優占した低湿地とそれに続く放棄水田が広がっており、以前から注目していたが、調査する機会を得た。短時間の調査であったが、エゾミソハギ、テツホシダなど貴重な植物が生育していることがわかった。その一つが本種である。シロネは個体数が多いが、



図 1. シロネ (田平町)



図 2. サクラマンテマ (東彼杵町)

1) 〒852-8521 長崎市文教町 1-14, 長崎大学教育学部生物学教室

生育地のすぐ近くまで埋め立てが行なわれている。

307. シロバナハマヒルガオ *Calystegia soldanella* Roem. et Schult. f. *albiflora* Hara (ヒルガオ科)

東彼杵郡東彼杵町江の串 [早岐 2, 4929-47-05], 1 m, May 5. 2005, (No. 19773)

薄紅色や紫色の花を開く植物の中で、白花の品種はしばしば現れるが、ふつう 1 株だけである。ハマヒルガオの白花は珍しく、また、ここに生育しているものは、群落がすべて白花の個体であった。

308. アイノゲシ *Sonchus oleraceo-asper* Mak. (キク科)

長崎市三和町川原大池 [野母崎 3, 4829-76-47], 2 m, May 31. 2005, (No. 19809)

ノゲシ (ハルノノゲシ) とオニノゲシの雑種である。帰化植物であるオノノゲシは最近になって多く見かけるようになったが、ノゲシとの雑種もときどき見かけるようになった。

新産の帰化植物

309. サクラマンテマ *Silene pendula* L. (ナデシコ科) (図 2)

東彼杵郡東彼杵町彼杵宿小迫 [早岐 2, 4929-46-56], 1 m, June 9. 2005, (No. 19764)

地中海沿岸原産で、美しい花を咲かせる。全国的に帰化はまれである。

希少植物の産地追加

231. マツバラン *Psilotum nudum* (L.) Beauv. (マツバラン科)

長崎市香焼町里 [長崎 4, 4929-06-24], 30m,



図 3. リュウビンタイ (長崎市)

July 16. 2004, (No. 19698)

県下に広く分布していると思われるが、産地はきわめて少ない。長崎市では太田尾町の海岸に生育地が知られていた。

232. リュウビンタイ *Angiopteris lygodifolia* Ros. (リュウビンタイ科) (図 3)

長崎市三和町 [長崎 4, 4929-06-28], 70m, Apr. 3. 2004, (No. 19664)

これまで五島列島南部や平島にのみ知られていた。本土側では野母崎半島の植物園内に野生状態で生育しているが、真の野生かはっきりしていない。上記の生育地は谷のスギ植林地の中で、個体数も多く、本当の野生であると考えられる。本土側にも確実に分布していることが明らかとなった。

233. アカウキクサ *Azolla imbricata* Nakai (アカウキクサ科)

西海市大瀬戸町雪浦上郷 [神浦 1, 4929-35-03], 3 m, July 21. 2005, (No. 19798)

県下でも西彼杵半島は最も生育地が多かったが、最近ではほとんど絶滅している。

234. テツホシダ *Cyclosorus interruptus* H. Ito (オシダ科)

北松浦郡田平町野田免 [平戸 4, 5029-04-46], 2 m, Aug. 25. 2003, (No. 19620)

五島や西彼杵半島、森山町などから知られていた。長崎県北部でははじめてである。

235. エビガラシダ *Cheilanthes chusana* Hook. (チャセンシダ科)

諫早市森山町杉谷名 [肥前小浜 1, 4930-11-71], 40m, Apr. 26. 2003, (No. 19572)

県下に広く分布していると思われるが、産地は少ない。

236. ミノボロ *Koeleria cristata* Pers. (イネ科)

長崎市外海町城山 [長崎 1, 4929-15-96], 60 m, May 25. 2003, (No. 19596)

長崎市矢筈岳周辺には多く生育しているが、それ以外の自生地は不明であった。

237. ニラバラン *Microtis unifolia* Roeichb. fil. (ラン科)

諫早市森山町唐比名 [肥前小浜 1, 4929-17-81], 110m, July 19. 2004, (No. 19700); 長崎市

矢上町東望 [長崎 1,4929-17-16], 5 m, May 21.2003, (No.19580) ; 同市伊王島町西部 [長崎 4,4929-06-51], 15 m, May 3.2005, (No.19791)

各地の草地に生育するが、花期を除くと目立たず、産地は少ない。本種はしばしば、造成地などに先駆的に生育することあり、上記矢上町の生育地は道路の縁のグリーンベルトの芝生の中であった。

238. サツマサンキライ *Smilax bracteata* Presl (ユリ科)

長崎市伊王島町丘町 [長崎 4,4929-06-51], 30 m, May 3.2005, (No.19788)

九州西廻り分布型植物の一つで、東南アジアから台湾、琉球列島、南九州を経て、長崎県まで分布している。長崎県ではこれまで五島列島南部、加津佐町、崎戸町、長崎市外海町大ひき島などに知られていた (図4, 中西1993)。

239. コアマモ *Zostera nana* Roth (ヒルムシロ科)

西海市西海町七釜郷南串島 [神浦 1,4929-35

-82], 0 m, May 27.2005, (No.19778)

アマモと同じ海産の種子植物であるが、干潮時には干潟となる砂泥地に生育する。この生態的な特徴のために、遠方からでも容易に本種とわかる。長崎県の分布はよくわかっていないが、今のところ産地はごく限られている。

240. タコノアシ *Penthrum chinense* Pursh (ユキノシタ科)

平戸市潮の浦 [平戸 4,5029-04-63], 1 m, Oct.26.2003, (No.19615)

平戸市では南部で知られていたが、現状は不明である。これまで県下で確実に生育している所は、飯盛町だけであり、上記平戸市の自生地は貴重である。

241. オオアカネ *Rubia hexaphylla* (Makino) Makino (アカネ科)

長崎市川内町上川内 [長崎 1,4929-17-39], 100m, May 21.2003, (No.19578) ; 東彼杵郡川棚町片島 [早岐 4,4929-46-57], 1 m, June 17.2005, (No.19819)

これまで県下ではクルマバアカネと混同されてきたもので、多良山系や雲仙山系には少ない。クルマバアカネと違って山地に生育していると思われていたが、上記のように低地でも生育しており、川棚町では海岸近くにも生育していた。長崎県レッドデータブックでは絶滅危惧Ⅱ類に指定されているが、県下に多く生育していることがわかり、指定解除すべきであろう。

242. シソクサ *Limnophila aromatica* Merrill (ゴマノハグサ科)

北松浦郡田平町野田免 [平戸 4,5029-04-46], 2 m, Aug.25.2003 (No.19618)

水田の縁などに生育するが、除草剤に弱いらしく、自生地であっても個体数は少ない。

243. ツクシアキノタムラソウ *Salvia japonica* Thunb. var. *stilonifera* Murata (シソ科)

西彼杵郡長与町日当野 [長崎 2,4929-16-69], 50m, Dec.14.2003, (No.19558) ; 長崎市泉町浦上水源池森 [長崎 3,4929-16-59], 40m, Sept.12.2004, (No.19685)

母種とは匍枝を伸ばすことで区別される。これまで島原市や多良山系、西彼杵半島などで確

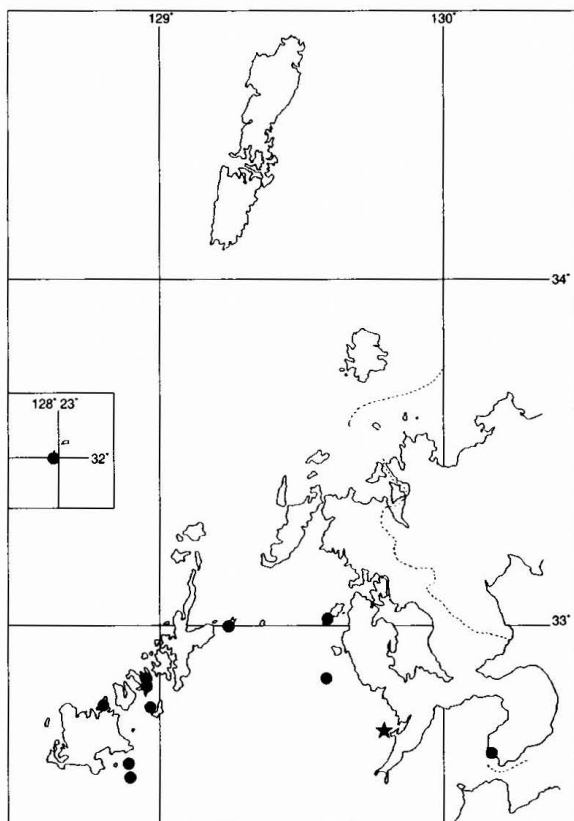


図4. サツマサンキライの分布. 星印は新産地を示す。

認している。今のところ、草地ではなく、林縁や林床に生育している傾向が強い。

引用文献

松林文作 1981. 長崎県シダ植物誌. 104pp., 長崎県出版文化協会, 長崎.
中西弘樹 1993. 植物. 伊藤秀三. 松岡数充編『長崎県の無人島—その自然と生物』pp. 545-

549.

中西弘樹 1996. 長崎県植物誌ノート(16). 長崎県生物学会誌47: 1-4.

中西弘樹 1998. 長崎県植物誌ノート(19). 長崎県生物学会誌49: 44-46.

外山三郎 1980. 長崎県植物誌, 321pp., 長崎県生物学会, 長崎.